

平成29年 第3回 市議会定例会

市長所信表明(要旨)

蕪崎市

本日ここに、「平成29年第3回市議会定例会」の開会にあたり、提出いたしました案件のうち、主なるものにつきまして、その概要を申し上げ、併せて、私の所信の一端を申し述べ、議員各位、並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

先月、パリで開催されたレスリング世界選手権において、本市出身の文田健一郎選手が、初出場での優勝を成し遂げ、日本のグレコローマンスタイルでは最年少の王者となり、日本勢としては34年ぶりの快挙であります。

父であり、監督であった文田敏郎さんとともに中学生の時から鍛錬を重ね、葦崎工業高校時代には全国高校生グレコローマンスタイル選手権で史上初の三連覇という快挙を成し遂げるなど、その活躍はスポーツを志す若者達の大きな希望となりました。これまでのご功績とこの度の優勝に対し、市民を代表して心から賛辞を述べさせていただくとともに、市民栄誉賞の授与を決定したところであります。今後は、2020年に開催される東京オリンピックでの金メダル獲得という目標に向けて、更なる活躍と、これからも私たちに感動を与えてくれることを大いに期待をしております。

この夏は、7月の福岡県・大分県を中心とした九州北部豪雨をはじめ、全国各地において災害が多数発生したところであり、甚大な被害を受けた皆様に対し、謹んでお見舞い申し上げます。

県内でも8月7日に大月市で線状降水帯による集中豪雨に見舞われたところでもあります。

過日、本市では総合防災訓練を実施し、16日には、「特定地区総合防災訓練」を葦崎西中学校において神山町、旭町、清哲町の11地区の住民を対象に合同訓練を予定しており、引き続き、ゲリラ豪雨や台風などの自然災害に備え、市民生活の安全確保に努めてまいります。

「山の日」には、穂坂自然公園を会場に、世界的なトレイルランナーの山本健一先生による「第一回 サンライズヒル・穂坂 ヤマケンカップ2017」を開催いたしました。当日は、高校生ボランティアや協賛企業のご協力のもと、県内外から予想を上回る194名のご参加をいただき、本市の自然環境を満喫していただいたところであります。

また、『感謝』をテーマとした恒例の夏の武田の里まつりは、早朝から降りしきる雨も祭典が始まる前にはすっかりあがり、華麗な花火が幻想的

な雰囲気醸し出し、昨年同様、多くの皆様のご来場をいただくなか、盛大に開催することができました。

この度の祭典に際し、多大なご協力を賜りました協賛企業各社をはじめ、商工会や各種団体、関係各位に対し、あらためまして心から御礼を申し上げます。

この度、10周年を迎える、葦崎大村美術館は大村智記念室、新収蔵庫、リニューアルした受付やミュージアムショップとオリジナル商品の充実、更には「女性作家の華やぎ」をテーマとした特別企画展や記念図録の発刊などの準備が整い、9日のオープニングには、記念式典、内覧会、午後からの一般公開を予定しておりますので、引き続き、多くの方々のご来館をお待ちしております。

また、昨年より選挙年齢が18歳以上となったことを契機として、先月、高校生議会を開催したところであります。市内の高校に通学される生徒をはじめ、ミアキスで活動をされている高校生に、まちづくりについての希望や要望を語ってもらいました。

このような機会を通じて、これからの社会を担う若者として積極的にまちづくりに参画していただけることを期待するものであります。

現在、準備を進めている次期長期総合計画においても、中学・高校生との懇話会を開催し、意見や考えをまちづくり計画へ反映するなど、若者の皆さんとともに取り組んでまいりたいと考えております。

さて、我が国の経済状況について、内閣府は8月の月例経済報告において、景気は緩やかな回復基調が続いていると判断を据え置いたところであり、「雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって緩やかに回復していくことが期待されるが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある」としております。また、県内景気については、日銀甲府支店の金融経済概観において、製造業の生産や有効求人倍率、雇用者所得も増加しているとの判断をし、「県内景気は緩やかに拡大している」としております。

こうしたなか、本市といたしましては、市内企業の動向を注視しながら、子育てと教育の環境整備や市民の健康づくり、定住対策の促進などの事業に取り組み、活力と魅力あふれるまちづくりを進めてまいり所存であります。

次に、本年度の主な事業の動向について申し上げます。

まず、移住定住対策事業についてであります。

本年より、持家住宅定住促進助成対象者に対し、低利な住宅ローンが適用されるよう市内の金融機関と連携協定を締結し、4月からは、中学生以下の子どもを持つ世帯に対する上乘せ助成を追加したところであります。

さらに、住宅金融支援機構との協定締結により若年子育て世帯を対象とした「子育て支援型」とUIJターンを対象とした「地域活性化型」の優遇金利住宅ローンは県内初の同時提供となり、さらなる移住定住促進に繋げてまいります。

次に、婚活・結婚対策事業についてであります。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における合計特殊出生率の早期引き上げの実現に向けて、新婚世帯の住居費や引越費用など新生活のスタートに係る経済的負担の軽減を図る新たな助成制度を始めます。

さらに、幅広い世代の婚活を支援する取り組みといたしまして、同窓会 DE愛（出会い）婚活応援事業を創設し、同窓会開催経費の一部助成を行い、ふるさと回帰による独身男女の自然な出会いの機会の提供をしてまいります。

次に、子育て環境の整備についてであります。

まず、再編保育園第2園及び藤井公民館の整備につきましては、過日、工事関係の一般競争入札を行い、施工業者を選定したところであり、明年、秋の開園を目指し事業を進めてまいります。

また、保育園の民営化につきましては、移管事業者であります社会福祉法人すみれ福祉会との共同保育が実施されており、行事に参加するなど、保育内容の把握や職員間の交流を図っております。今後も保護者、事業者、市による協議を継続して行い、円滑な引き継ぎに努めてまいります。

次に、高齢者福祉の充実についてであります。

本年で31回目の開催となります「福祉の日」記念まつりにつきましては、市民からの応募による「やさしさが あなたの心をあたためる」をキャッチフレーズとして、全員参加型のイベントを新たに加えるなど、内容の見直しを図り実施してまいります。これまで培った「ふれあいの輪」を、さらに「福祉の輪」へと広げ、共に次代に誇り得る、心豊かな地域づくりのため、多くの市民の皆様のご参加をお願いするものであります。

次に、公園整備の充実についてであります。

午頭島公園につきましては、本年度、樹木の剪定を中心とした大規模な植栽管理業務を行っております。今後、地域の皆様と協働しながら市民の憩いの場となる公園管理を進めてまいります。

また、中央公園陸上競技場外周夜間照明につきましても、市民からの要望により夜間照明のLED化を図るとともに、老朽化している照明施設の修繕等を行い、ウォーキング等の健康づくりが安心して、いつでもできる環境を整備してまいります。

次に、今議会で認定をいただく、平成28年度決算についてであります。

まず、一般会計につきましては、歳入総額は、141億4,379万7千円となり、前年度に比べ8.2%の増、また、歳出総額は、135億6,500万8千円となり、前年度に比べ、7%の増となっております。

歳計剰余金は、5億7,878万9千円で、翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支は、4億2,879万6千円の黒字となりました。

また、実質単年度収支は、1億8,986万6千円の黒字となり、5年連続の赤字から改善したところであります。

なお、財政構造の弾力性を示す「経常収支比率」につきましては、89.6%と、地方消費税交付金等による経常一般財源の減及び公債費等の経常経費充当一般財源の増により、前年度より1.3%悪化しております。

次に、「健全化判断比率」につきましては、「実質公債費比率」が0.2%減の10.0%、「将来負担比率」は15.4%増の87.2%となりましたが、いずれの指標も早期健全化基準を大きく下回る結果となっております。

また、特別会計につきましては、実質収支の総額が3億3,418万9千円となり、水道事業会計におきましても、純利益を出すなど、堅実な財政運営を行うことができたところであります。

なお、病院事業会計につきましては、純損失が3億549万2千円となったところでありますが、電子カルテ導入等による医業費用の増によるものと考えております。

議員各位のご協力と市民の皆様のご理解に支えられ、平成28年度も健全財政を維持できたところでありますが、財政構造の硬直度が依然高

水準にあり、市債の残高も年々増加していることを踏まえ、なお一層、効率的な予算執行に取り組み、将来を見据えた計画的な財政運営に努めてまいり所存であります。

次に、本日提出いたしました審議案件につきましては、先の6月議会以降の新たな行政需要に対応するため、条例等の改正のほか、予算につきましても補正の必要が生じたので、対処いたしましたところであります。

これにより、今議会でご審議をお願いする案件は、

報告案件 5 件、
予算案件 3 件、
条例案件 4 件、
認定案件 16 件、
その他案件 4 件であります。

このうち、一般会計補正予算案について、その概要を申し上げます。

今回の補正は、前年度繰越金や地方交付税等の確定に基づく歳入予算を計上したほか、定期人事異動に伴う職員給与費の補正、並びに緊急性を生じた諸事業を中心に編成したところであります。

まず、議会費につきましては、議会中継システムの再構築費用など、129万5千円を増額補正しております。

次に、総務費であります。

平成28年度決算における実質収支の2分の1相当額を積み立てるため、財政調整基金積立金に2億1,439万8千円、地区からの要望により、既存の防犯灯をLEDに切り替える経費として、安全・安心なまちづくり事業費に88万5千円追加計上するなど、総額2億3,580万5千円を増額補正しております。

次に、民生費であります。

障害者総合支援法などの改正により、障害者自立支援給付支払等システムに改修が必要なため、障害者総合支援事業費に291万6千円を追加計上する一方、森林・林業再生基盤づくり交付金の不採択により、事業費、財源などの見直しを行い、再編保育園・藤井公民館整備事業費を6,315万1千円減額し、総額6,012万8千円を減額補正しております。

次に、衛生費につきましては、総合健診の受付事務などの見直しにより、健康診査事業費に19万9千円を追加計上し、職員給与費の減額と

あわせ、総額169万3千円を減額補正しております。

次に、農林水産業費であります。

農業用施設の長寿命化に地域で取り組むための助成経費として、多面的機能支払事業費に314万1千円追加計上する一方、上ノ山・穂坂地区工業団地内の外周道路整備につきましては、市土地開発公社で施工することになりましたので、小土地改良事業費を2,380万円減額し、総額1,480万4千円を減額補正しております。

次に、商工費につきましては、商店街空き店舗対策費補助金の確定見込みと、駅前街路灯改修工事に県補助金が採択となり財源振替を行うなど、総額24万6千円を増額補正しております。

次に、土木費であります。

社会資本整備総合交付金の内示に伴い、サンコーポラス藤井住宅1号棟の外壁等改修工事費として、定住促進住宅改修事業費に8,302万円、橋梁修繕詳細設計委託の追加など、道路施設長寿命化推進事業費に3,121万2千円を追加計上する一方、堀切橋拡幅整備事業費につきましては、当初予定を変更して、橋梁下部工を施工することとし、1億8,580万7千円を減額し、総額1億2,428万6千円を減額補正しております。

次に、消防費につきましては、防火水槽の撤去費用として、消防施設維持管理費に102万6千円を追加計上するなど、総額129万2千円を増額補正しております。

次に、教育費であります。

民生費と同様の理由により、再編保育園・藤井公民館整備事業費を1,640万5千円減額する一方、甘利小学校大規模改修事業費につきましては、施工中に確認された改修工事の必要が生じたため、1億145万2千円を追加計上し、総額6,059万8千円を増額補正しております。

以上の結果、一般会計補正予算額は、9,832万5千円を増額補正となり、現計予算額は142億5,280万3千円となります。

次に、特別会計であります。

介護保険特別会計につきましては、平成28年度決算に基づき、国庫支出金等償還金に5,360万4千円、積立金に5,250万5千円を追加計上するなど、総額1億993万8千円を増額補正しております。

その他の案件につきましては、いずれもその末尾に提案理由を付記してありますので、よろしくご審議のうえ、ご議決あらんことをお願い申し上げます。

平成29年9月7日

蕪崎市長 内藤久夫